
人形の乱

源雪風

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

人形の乱

【Nコード】

N4204K

【作者名】

源雪風

【あらすじ】

兄と弟と、なるむちゃん（人形）の三角関係。

俺の兄貴はフィギュアを集めている。

その中で一番兄貴が気に入っているのが、なるむちゃんだ。

兄貴は、毎日なるむちゃんをあらゆる角度から見る。

風呂に入る時もトイレに行くときも寝るときもずっと一緒だ。

しかし兄貴が学校に行くときだけ、なるむちゃんは留守番だ。

兄貴の学校は校則が厳しいので、なるむちゃんを持っていったのがバレたら、焼却炉に投げ入れられてしまう。

兄貴がいない間に、僕はなるむちゃんをじっくり見た。

実は僕もなるむちゃんが好きだ。

その気持ちは兄貴に負けないと思っている。

しかし、兄貴がなるむちゃんと幸せそうに暮らしている様子を見ると、自信がなくなってしまう。

兄貴と僕のどちらがなるむちゃんを愛しているか調べる方法を思いついた。

僕はマジックでなるむちゃんの耳の裏にほくろを描いた。

もし兄貴のほうがなるむちゃんを愛しているなら、このほくろに気付くだろう。

もし僕の方がなるむちゃんを愛しているなら、兄貴は気付かないはずだ。

玄関のドアが開く音がした。

あ、兄貴が帰ってきた。

僕が兄貴のなるむちゃんにほくろを描いてから一週間経った。

しかし兄貴はいつもと変わりなくなるむちゃんを愛していた。
兄貴は気付いて言わないのか、それとも気付いていないのか。
確かめたいが、自分からなるむちゃんの話題を切り出すのは不自然
かもしれない。

いつそのこと、白状してしまおうか。

でもそうしたら僕の負けだ。

僕はどうしたらいい。

なるむちゃんを見ても、答えは出そうになかった。

もしや兄貴は、僕がなるむちゃんにほくろを描いたことを知って
いて、わざと黙っているのか。

そうだとしたら、愛するなるむちゃんにほくろを描く馬鹿な僕より、
弟の罪を見逃して、変わり果てたなるむちゃんを変わずに愛し続
ける兄貴の方が愛が深い。

負けだよ、兄貴。

ずっとお幸せにな。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4204k/>

人形の乱

2010年10月28日08時16分発行